

2023年度 グローバル探究Ⅰ 年間予定表

※変更の可能性あり

回	3・4組 (3限)	1・2組 (4限)
	学びみらいpass	学びみらいpass
1	診断的評価として実施する。 生徒自身が得意なことや課題を認識することを目的とする。	
	オリエンテーション	オリエンテーション
2	科目の目標・1年間の授業計画について生徒と共有する。「探究するとはどういうことか...?」 「食」をテーマに問いをもち、考えるワークを行いながらオリエンテーションを行う。	
	トピック①	トピック①
3	トピック①「バリュープロジェクト」 価値や価格はだれが決めているのか？価値観とは何かを考え、自分や他者の価値観にふれ、自分や他者にとって大切なものを捉えなおすワークシヨップ。	
	こどもの日	
	トピック②	トピック②
4	トピック②「グループで問題解決に取り組む意味を考える」 NASAゲームを通して、グループで合意形成を図る意味と難しさを学ぶ。	
	トピック③	トピック③
5	トピック③「TOK：知ることを知る」 物事を見るとは、どういうことか、 TOKの実践から、物事に対してクリティカルに見るとはどういうことか学ぶ。	
	前期中間考査	
	トピック④	トピック④
6	トピック④「『探究する』とはどういうことか」 ワークショップを通して、仮説を立て検証方法を模索し、 様々な視点から解決を図る経験をし、その中で探究のサイクルを学ぶ。	
	アカデミックリーディング	アカデミックリーディング
7	文献資料を使って、文献の読み方や探究への活用する方法を学ぶ。 グループ探究で活用できるスキルを習得する。	
	探究の基礎①仮説の立て方・情報の集め方	探究の基礎①仮説の立て方・情報の集め方
8	仮説を含む「問い」とはどのような問いなのか。問い作りのワークを行いながらグループ探究に活かすことができる探究の基礎力を身につける。	
	学びみらいpass解説会	
9	4月に受験した学びみらいpassの解説会を通して、自分の得意なこと課題点について自己分析する機会とする。また、その結果を探究活動に活かせるように指導する。	
	附高祭	
	クロスカリキュラム	クロスカリキュラム
10	トピック「食を通して世界を考える」 「食」をキーワードに、社会が抱える課題を知り、自分の生活との関わりに気づくことをめざす。学校全体として「食」をテーマに授業を実施する予定。	
	外務省「高校講座」(外部講師)	
11	在外公館の担当者が職務の中でどのような課題にぶつかり、課題をどのように乗り越えたのかをお話し頂くことで、探究と社会の繋がりを実感できることをめざす。	
	外部講師	外部講師
12	社会の中でどのような課題にぶつかり、課題をどのように乗り越えたのかをお話し頂くことで、探究と社会の繋がりを実感できることをめざす。講演者は検討中。	
	探究の基礎②探究の方法	探究の基礎②探究の方法
13	アンケートの作り方、インタビューの取り方、フィールドワーク時のルール、実験時の注意点、図書館の使い方等、探究方法についての基本を確認する。	
	視聴覚行事	
	探究の基礎③発表方法	探究の基礎③発表方法
14	最終発表のポスターの形式、またレポートのまとめ方について提示する。 分かりやすい伝え方とはどのような工夫が必要なのかを考える。	
	前期末考査	
	グループ①	グループ①
15	グループ探究① グループでリサーチクエスチョンを設定する。 仮説検証に適切な探究の方法を検討し、探究の計画を立てる。	
	グループ②	グループ②
16	グループ探究②	
	代休	
	グループ③	グループ③
17	グループ探究③	
18	サンダン高校交流準備	
	文化の日	
19	サンダン高校交流?	
	グループ④	グループ④
20	グループ探究④	
	グループ⑤	グループ⑤
21	グループ探究⑤	
	後期中間考査	
	グループ⑥	グループ⑥
22	グループ探究⑥ 探究の成果をポスターにまとめる。	
	グループ⑦	グループ⑦
23	グループ探究⑦ 作成したポスターを使って、発表練習を行う。 相手に伝わりやすい発表について工夫する。	
	本発表①2時間	
24	これまでのグループ探究の成果を発表する。 発表形式：ポスターセッション予定 2年生と合同で発表会を実施予定	
	本発表②	
25	これまでのグループ探究の成果を発表する。 発表形式：ポスターセッション予定 1年生同士で互いに学び合う機会とする。	
	WWL 国際会議	
	1年間のふりかえり	1年間のふりかえり
26	グローバル探究の1年間の学習等を通して、どのような力を身につけることができたか、自分自身で振り返る時間とする。社会に関わる課題を扱いつつも、自分の見方や考え方を見つめ直すことができたかを振り返る。	
	グローバル探究Ⅱ 本発表	グローバル探究Ⅱ 本発表
27	2年生の発表を見学し、自身の探究を振り返り改善する機会とする。	
	次年度に向けて	次年度に向けて
28	個人レポートの提出 グローバル探究Iでの探究活動をグローバル探究IIへ繋げるまとめとする。	